

146 キヌタアゲマキ

(ウロコガイ科)

兵庫県ランク:B

Solecortus divaricatus

環境省ランク:NT

種の概要

房総半島から九州に分布。干潟から潮下帯の砂泥底に潜って生息する。主には潮下帯に生息する。殻長70mm程度。殻は淡紫紅色、横長の四角形でやや厚く、前後端は大きく開く。殻頂から放射状の細かい溝が多数走り、後域では分岐状となる。殻頂から2本の白い放射彩がある。

主要な選定理由

人為性			生息環境の特殊性		学術性		
個体数激減	分布域に影響	営利目的捕獲	特殊生息環境	地域的孤立	分布が極限	分布の限界	希少
			○	○			○

県内分布

姫路市、洲本市

県内における生息状況及びその他特記事項

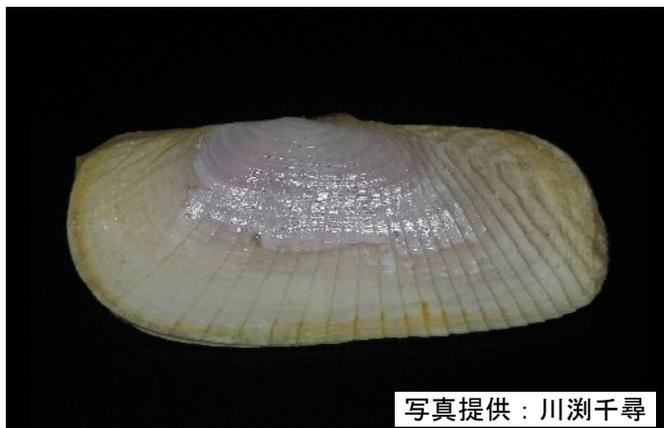
新規追加種。淡路島中部の内湾に面した2箇所(2箇所の)の砂泥干潟で本種の生息が確認されているが、個体数は非常に少ない。大潮の干潮時、干上がった砂泥上に大きな水管と殻の半分ほどを出しているのが散見された。播磨灘では姫路市で死後間もない個体を確認しているのみである。

保護上の留意点

潮通しの良い内湾において、広い砂泥干潟を保全する。



写真提供：川淵千尋



写真提供：川淵千尋

【執筆者】 川淵千尋